

令和2年8月9日執行 安芸高田市市長選挙

# 選挙公報

安芸高田市選挙管理委員会

## 「この先も世界で一番住みたい」 と思えるまちへ

- ① 政治再建：政治の「わかる化」
  - × 「政治とカネ」の問題によって政治不信が強まり、ますます市民が政治への関心を失っている。
  - 政策決定の背景や工程などをわかりやすく公表。
  - 若年層や女性に対して、個別に説明や意見交換の機会を設け、一層の政治参加を促す。
  - 市民の高い関心の下、「法令等の遵守（コンプライアンス）」を徹底し、行政の健全な運営を実現。
- ② 都市開発：将来を見据えた投資
  - × この5年間で人口は約2千人も減少。財政の悪化が進み、社会インフラ（基盤）の維持すら危ぶまれる。
  - 「田んぼアート」や「神楽門前湯治村」といった観光事業、芸術線を始めとする公共交通機関、病院などの医療・福祉施設について将来にわたる採算性を再検証し、持続的な形へ転換していく。
  - 災害に強いまちづくりとして、洪水等の危険がある避難場所の見直しは急務。対応の軸となる公共施設の安全を最優先に確保。
- ③ 産業創出：リモートを活かした人材の確保
  - × このまちで学び、仕事に就き、まちを支えていくための基盤が弱い。
  - コロナ禍で浸透したリモート（遠隔地での活動）を活用し、教育や就労の選択肢を増やす。
  - 大学や企業に研究・調査の場を提供し、先端技術の恩恵を教育や産業の分野に取り込む。



石丸 伸二 37歳

自己紹介

- ✓ 1982年8月12日、吉田町生まれ。
- ✓ 吉田小学校、吉田中学校、広島県立祇園北高等学校を経て、京都大学経済学部を卒業。
- ✓ 2006年に三菱UFJ銀行へ入社。経済を分析・予測する専門家（アナリスト）として初代ニューヨーク駐在となり、4年半にわたってアメリカ大陸の主要9カ国25都市で活動。

<https://shimaru-shinji.com/>  
<https://www.facebook.com/shimaru1982/>  
 Twitter: @shinji\_ishimaru

## ＝私の喫緊の取り組み＝

- I 市民の声に耳を傾け、全身全霊で市政の刷新と信頼の回復に全力
- II 新型コロナウイルスによる産業、雇用、市民の生活の不安の解消に全力

## 私の約束

- ☆未来を担う子ども達への子育て支援、可能性を育む教育環境の整備を図ります。
- ☆人の力と情報化で支えあう地域社会と地域医療・介護体制の充実を推進します。
- ☆農業をはじめとする産業の個性ある振興と地域経済の循環化を図り、地域経済を活性化させます。
- ☆情報インフラを活用し、各分野の情報化を進め、安心安全と利便性・効率性を図ります。
- ☆自然、歴史、伝統文化、芸能、特産品、トップスポーツ等の地域資源を活用し、地域を元気にします。
- ☆環境にやさしい循環型社会の実現とクリーンエネルギーの普及を推進します。
- ☆頻発する集中豪雨に備え、災害に強いまちづくりを推進します。
- ☆財政の健全化を図り、安芸高田市発展の継続性を確保します。



竹本 実 ねあき

## 私のプロフィール

- 1953年（昭和28年）安芸高田市甲田町に出生
- 広島県立向原高等学校、近畿大学理工学部卒業
- 1977年（昭和52年）甲田町役場就職
- 2007年（平成19年）総務企画部政策企画課長
- 2011年（平成23年）企画振興部長
- 2014年（平成26年）安芸高田市退職
- 2016年（平成28年）安芸高田市副市長就任
- 2020年（令和2年）安芸高田市副市長辞職



未来をつくる  
あなたの一票大切に

## 投票所では、次のような新型コロナウイルスの感染防止対策を行っています。

- 消毒（筆記用具や投票用紙に候補者の名前を書く台）
  - ※筆記用具は、投票所に準備されておりますが、有権者各自で持参されたえんぴつを使用することもできます。
- 消毒液、うがい薬、手洗い石鹸を常備
- 定期的な換気
- 混雑時に待っている有権者間の距離確保

## 有権者の皆様もご自身の予防対策をしたうえで、積極的な投票参加をお願いします。

- マスクの着用（口や鼻を覆う）。
  - マスクがない場合は、くしゃみや咳が出る時に、ティッシュやハンカチで口や鼻を覆いましょう。
  - とっさの時は、袖で口や鼻を覆いましょう。
- 帰宅時の手洗い・うがい

投票日当日に投票所に有権者が集中することを避けるため、  
期日前投票の積極的な利用をお願いします。